

症例17 不思議なこと

- ・ Q氏 73才.女性
- ・ 特記すべき既往症はなし

主症状

20年前にQは認知症を出現させた。63歳の頃である。

10年後、73歳のとき当院へ入院した。当時は、会話がうまくまとまらない。物忘れも著明な状態であった。怒りっぽい、興奮しやすい、娘の顔もわからないなどの状態まで進行していた。

生活歴

入院したQは、歩くことも、動くこともできなかった。

Qは、腕や下肢が縮み、食欲もなく、食事の摂取量は極めて少量であった。寝たきり状態で、周囲の出来事にも関心がなく、呼びかけても視線は動くことがないほどであった。

家族は頑張っこのような状態になるまでQの面倒をみてきた。しかし、家族は疲れきって、当院へQを入院させたのである。

それから5年の月日が経っていた。発病後15年以上が経過していた。

【メモ-1】

ところが、83歳になって、突然Qは食欲が回復し、ほぼ全量摂取も可能となった。同時に視線が人を追い、表情が明るくなった。さらに言葉にならない言葉が口から漏れ、笑顔さえ戻ってきた。

何故、このようなことが起こったのか。

Qに変化が起こる数ヶ月前に、当院のスタッフとしてTが入職した。65才になる彼は、「まだ働けるから人の役に立ちたい。自分が納得できる仕事をしてみたい」と言った。テレビ会社でプロデューサーなどの仕事をしてきた、創造性の豊かな、頭の良い人であった。

彼は介護の仕事をするようになった。何事にも意欲的な彼は、日々の経験を自分の血肉としていった。ある日、Tは言った。「毎日ただ一緒にいるだけではなく、肌に触れてあげることや、手をさすってあげることがとても良いようです。Qさんは時々私を見つめるようになりました」と。

Tは、認知症の患者が自分の子供を忘れてしまい、他人との区別がつかなくなっていることに着目した。「それなら、他人を我が子として思い込むこともあるはずだ」と考えた。そして、子供がいると親は安心することを利用して、Qに「お母さん、お母さん」とスキンシップをしながら呼びかけ続けた。Qの視線がTを追うようになった。

Tは「顔に表情が出てきました」と言い、さらに一生懸命Qの介護をした。呼びかけも「お母さん」ではなく、実の息子が「かあさん」と呼んでいたことを聞きだし、何事があっても「かあさん、かあさん」と話しかけた。

すると、驚くべきことが起こったのである。

Qが何か喋るような表情をするようになったのである。同時に食事もほとんど食べることができるようになった。やがて、笑顔も見られ、痛いはずの下肢を動かそうとするようにもなった。

このようなQの経過のなかで、大事なことが一つあった。それは、Tの対応である。ただ「かあさん」と呼ぶだけでなく、食事介助のとき、Qの口元についた食物をスプーンで取ったり、ティッシュペーパーで拭いたりするだけではなく、Qの口元のご飯粒を指で拭いて、それをTは自分の口に入れるくらいに一心同体になっていたのである。QはそんなTをじっと見つめていた。

Qが感情を再び外に出し始めたのは、その後のことである。

Tの対応の仕方は、野球なら逆転満塁ホームランにも似た出来事であった。しかし、いつもこのようにドラマチックな改善があるとは限らない。これは、あくまでも例外的なケースであり、それを経験できた私たちは、運が良かったのであろう。

以上は1991年頃の症例である。

【メモ-2】

認知症高齢者を介護するとき、『優しいレベル』が『優しさを越えたレベル』まで昇華すると不思議なことが起こるようである。

では、『優しさを越えたレベル』の非凡な人とはどのような人であろうか。それは、一緒に居るだけで高齢者の認知症を改善してしまうことのできる人で、『その高齢者を生んで、育てた母親のようになれる人』のようである。

【まとめ】

ところで、高齢者にとって、一般的な『優しい人たち』とは？

表 2-1 認知症高齢者にとって優しい人とは

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・ 「頑張ろう」と思ってしまうような接し方をしてくれる人・ 『自己実現』のできる『明日』を創ってくれる人・ 変化のある生活をさせてくれる人・ 『存在価値』を持てる『今日』を創ってくれる人・ 不安・寂しさ・恐れなど取り除いてくれる人・ 高齢者の『過去』を大切にしてくれる人・ 修正した『過去』を創ってくれる人・ 注意・命令・文句・叱責・愚痴・嫌味など言わない人・ できないことをさせて、恥をかかせない人 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|